

平成24年度 特別支援学級 経営方針

1 めざす子ども

- ① 友達と、明るく優しくかかわる子
- ② 自分で考え、最後までやりぬく子
- ③ 自分の思いを表現したり自分で行動したりする子

2 年間計画

月	指 導 者	児 童
4月	児童の実態把握・推進計画作成 前期目標を設定する。	学級開き こいのぼり作り
5月	児童の様子を全職員に紹介する。	たけのこの店
6月	市内の特別支援学級と交流する。	連合野外活動
7月	水遊びの楽しさを味わわせる。	プールで遊ぼう
9月	練習を通して、他学級と交流する。	運動会の練習
10月	後期目標を設定する。	運動会 連合運動会
11月	児童の様子を保護者に紹介する。	作品展 スイートポテトづくり
1月	児童の変容の様子を全職員に紹介する。	校内書きぞめ会
2月	児童の成長を保護者、職員に知らせる。	たけのこ発表会 卒業お祝い会
3月	1年間のまとめをする。	1年間のまとめ

3 指導方針および具体的な手だて

- 人と関わりながら、自己をのびのびと表現することができるようにする。
 - ・ 人に働きかける力を身に付けさせる。(友達、先生、その他の人たち)
 - ・ 集団のなかで行動する力を身に付けさせる。
 - ・ 異年齢集団の特性を生かし、互に関わり合いながら成長させる。
 - ・ 学級や学年の友達との関わりの中で、自分らしさをのびのび出すことができるように、場に応じた支援をする。
- 楽しんで体力づくりができるようにする。
 - ・ サーキット、なわとび、ボール遊び、ごっこ遊びなどを通して、遊び感覚で体力づくりをさせる。
- 「やった」「できた」という成就感を味わいながら、学習に向かえるようにする。
 - ・ 細かいステップで学習計画を立てる。
- 子どもたちが興味をもって取り組めるようにする。
 - ・ 教材・教具を工夫する。
 - ・ 体験活動を仕組んでいく。
 - ・ 体や手を動かして実感できる教材を生かした授業を組み立てる。

- 栽培活動、観察活動で自然を実感できるようにする。
 - ・ 年間を通した種まき、水やり、草取りなどの作業を通じて、いのち・自然のこちよさを体感させる。
- 多くの本や詩に出会い、言葉のおもしろさを感じられるようにする。
 - ・ 本の読み聞かせ、詩の暗唱、ことばあそびなどを取り入れる。
- 児童が表現する喜びを味わえるようにする。
 - ・ 発表会、作品展開催など、文化的行事を設ける。

4 交流及び共同学習

(1) 目的

- ・ より大きな集団での活動を経験することによって、人との関わり方を学び、集団行動のとり方を身に付ける。
- ・ 互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶ場を設ける。

(2) 方法と内容

- ・ 交流学級や学年において、個々の実態・目的に応じて教科・領域等、行事などに参加し、共に活動する。